

目標達成計画

作成日: 令和 1 年 9 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難用品の確保は行えているが、備蓄品の充実が出来ていない。 避難訓練の際、地域の方に参加していただけていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に備え、備蓄品を充実させる。 年2回の避難訓練に1人でも多くの地域の方へ参加していただくことが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 備蓄品を確保する為に、一般的な備蓄品ではなく、介護施設として、どのような備蓄品が最適なのかをネットワーク会議やグループホーム交流会の各事業所の備蓄品を参考に検討し確保する。 運営推進委員会で避難訓練の日程を報告し、1人でも多くの地域の方々に参加していただけるよう、回覧板又は、掲示板にて周知していただく。 	12ヶ月
2	27	<ul style="list-style-type: none"> 介護経験が浅い職員は、統一介護を行えているが決められたことのみを行い、自らの気づきや提案が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 統一介護は必ず徹底して行い、各入居者様にとって必要なことや、入居者様が穏やかに苦痛なく暮らしていただく為には、どのような支援が必要なのかを把握できるように、個々の状態を把握し、自己の思いを伝えられない方の心の声にも耳を傾け、各入居者様の残りの人生を大切に、心身共にケアできる職員に育つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 1つ1つのケアに対しての意味や、入居者様ご本人や、ご家族様の思いを伝える。 入居者様1人1人の思いを把握できるように、コミュニケーションを図り信頼関係を構築できるように関わり方の指導を行う。 重度の方へのケアは、一緒に行い学んでもらう。 業務であっても、心を大切にケアが行えるよう当ホームの理念を伝える。 	6～12ヶ月
3	33	<ul style="list-style-type: none"> 入居者様の状態が重度化した際、ご家族様と段階に応じ相談し方針を決め対応しているが、当ホームの対応力や医療機関の連携を記した「重度化・終末期の対応指針」の作成と同意書の交付、又は契約書へ添付をしていない為、指針の作成と同意書の添付について検討要する。 	<ul style="list-style-type: none"> 契約書の内容を詳細に記載するか、又は指針と同意書を別に作成しご家族様へ分かりやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> 入居者様とご家族様が安心できわかりやすい指針と同意書を本社と相談し作成する。 	6～12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。